

テーマ：北方領土（実践校）

## 後志管内 余市町立東中学校

### ■本実践のポイント（概要）

- ・北海道に関する正しい知識を得るとともに、ふるさと北海道への関心を高め、ふるさと北海道を愛する心を育てるために、元島民の方の講話やインターネットによる情報収集、北方領土の活用方法について考えることを通した探究的な学習活動を展開しました。

### ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### ①取組の様子

##### (1) 課題の設定

前年度の「ジョバンニの島」の視聴を通じた学習を踏まえ、今年度はより身近な視点で北方領土問題を捉えるために、「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用し、「北方領土が返還されたら、どのように活用するか」という学習課題を設定しました。

##### (2) 情報の収集

千島歯舞諸島居住者連盟の語り部である元島民の松本侑三氏を講師に招き、北方領土の自然環境や豊富な資源、ロシア人との共同生活や占領時の具体的なエピソードについて学びました。また、グループごとに「自然」「産業」「地形」の3つのテーマでインターネットや学校図書館の資料を活用して情報を集めました。

##### (3) 整理・分析

講話や調べ学習によって得た情報を整理し、「北方領土には世界遺産の知床以上の自然が広がっていること」や「日本人が住んでいた頃は、魚介類の缶詰工場などがあり産業的な面で活用できる可能性が高い」などの分析を行いました。

##### (4) まとめ・表現

設定した課題についてグループごとにスライド資料を作成して発表しました。「自然を利用したアミューズメントパーク」「風力発電所」「北海道全体のための食糧資源の確保」「リゾートホテル」など活用方法について多様なアイデアが出されました。

#### ②生徒の感想等

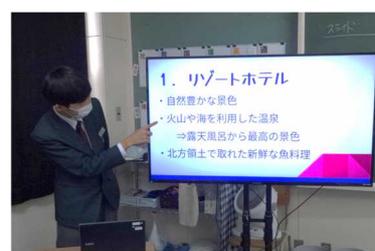
- ・「自分たちの祖先が眠る土地、生まれ育った土地を自由に訪れたい」という松本さんの言葉が印象的でした。北方領土問題を他人事とは考えずに、自分にできることをしたいです。機会があれば署名活動にも参加したいです。
- ・松本さんの話を聞いて、北方領土問題をこれまでより身近に感じることができました。これからも北方領土問題について積極的に学んでいきたいと思います。



【語り部による講話】



【講話で質問する生徒】



【活用方法発表の様子】

### ■取組の成果（○）と課題（●）

- 北方領土問題に対して課題意識をもって学習に取り組むことができました。生徒アンケートの「北方領土の自然や歴史、領土の返還についてもっと調べてみたいか」に対する肯定的な回答は、学習前の67%に対して、学習後は89%と増加しました。身近な学習課題の設定と元島民の方による講話の成果だと捉えています。
- 北方領土問題を身近な問題として捉える時間を確保するために、今回は社会科と総合的な学習の時間の授業に位置付けましたが、継続して行うには教科等横断的な視点で年間指導計画を整理する必要があります。